

具体化に向け さらに一歩前進

国際ハイウェイプロジェクト

東アジアハイウェイ計画

秘書長が記念講演

中国から準備委員会来日

いま、東アジア諸国を鉄道網で連結しようとする構想がある。タイ・バンコクで開かれたアジア欧州首脳会議(ASEAN)で、マレーシアのマハティール首相が提唱したもので、シンガポールを発し、中国の昆明・北京・丹東から平壤に向かい韓国ソウル・釜山に到着するというもの。この鉄道網とは別に、東京から日本と韓国を海底トンネルで結び、ソウル、平壤、北京へとハイウェイ網で連結しようとする「東アジアハイウェイ」計画があり、一九八二年から国際ハイウェイ建設事業団(梶栗玄太郎理事長)が事業化に向けて着手している。そのような中、中国・丹東から、中国・国際ハイウェイ計画準備委員会の一行が来日、同事業団と意見交換した。

来日したのは、中国の首都・北京から北朝鮮国境の丹東までを高速道路で結ぶ計画を推進している中国国際ハイウェイ計画準備委員会・丹東市代表団(団長李志生・丹東市人民政府秘書長)。

この北京-丹東間の高速道路計画は一九八一年、

韓国ソウルで開かれた第十回「科学の統一に関する国際会議」(ICUS)の席上、文鮮明師によって提唱された。

その後、八八年に日米代表団が訪中し、中国国際友好連絡会の全面的な協力の下、同計画の推進に意旨。日中合意現地準備調査団を編成し、北京-丹東間の約千キロのルートにつ



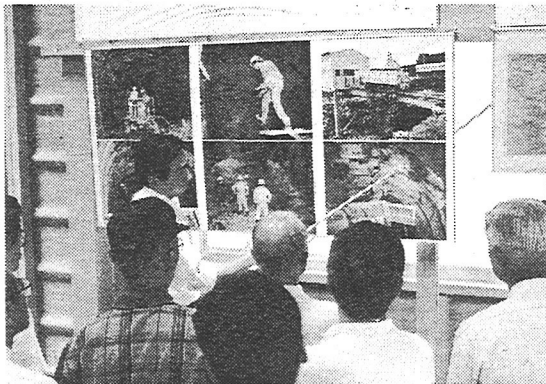
中国丹東市訪日団歓迎懇談会

1996年5月30日

国際ハイウェイ建設事業団

都内で行われた訪日団歓迎懇談会
11月30日

本格的工事開始 の兆し強まる



パネルの前で説明を受ける広島県連合会のメンバー

広島連合会、日韓トンネル視察

懇談会ではまず、一行を代表して、李志生・同秘書長があいさつ。さらに、これまでの中国側の現地視察状況が事務局からスライドで

紹介された。
李秘書長はまた、「二十一世紀における丹東市の戦略的な位置」と題して記念講演した。
その中で同秘書長は、現在丹東市で計画が進められている「六四二二工程」——すなわち①六四二二工程②四大インフラの整備③二大経済開発区の整備④一大観光システムの構築——などに関する見解を紹介した。

一行は翌日、首都高速を視察したのち、東名・名神高速を走行。神戸で建設中の明石大橋の現場視察。翌日、関西空港から次の目的地韓国へ発った。

民間外交を通じて、真の平和・友好の確立を目指す世界平和連合広島県連合会はこのほど、佐賀県

鎮西町にある日韓トンネル調査工事現場を視察、国際ハイウェイプロジェクトの推進に一層の理解を深めた。同プロジェクトは、日本と大陸を海底トンネルで結び、さらに東洋と西洋の諸国を高速交通網で連結しようという壮大な構想。日韓トンネルは、同プロジェクトの中でも最も難工事が予想される部分で、九州北部から吉岐・対馬を経て韓国の釜山へ至る二百